



contents

[コラム]

教育のコンテスト“ISECON”を知っていますか？ …神沼靖子

[解説]

産業技術系専門職大学院の認証評価：
大学評価制度はどうあるべきか？
…掛下哲郎・笈 捷彦・阿草清滋

[解説]

障害者職業訓練校の情報教育
— 情報処理系 OA システムコースの取り組み —
…間辺広樹

Column

教育のコンテスト“ISECON”を知っていますか？



教師が学び合う場

人はそれぞれの世界でさまざまな問題に直面し、多様な知恵を使って解決している。しかし、個人が使える知恵には限界がある。教師も例外ではない。文化の異なる組織で教育実践をしている人々が学び合える場が必要であろう。ISECON はそれを実現した。参加者は教育機関、専門学校、企業など多様である。

IS 教育コンテスト (ISECON ××××) とは？

ISECON は情報処理教育委員会・情報システム (IS) 教育委員会が共催する情報システム分野の教育コンテストである。××は開催年度を表す。2008 年に始まってから、次の ISECON 2011 で 4 回目となる。このコンテストの使命は広く深く学びを支援することであり、良い教育を掘り起こし普及することである。このコンテストは広義の IS 教育を意識して「どのような工夫をしているか」、「教育改善を継続しているか」、「組織的に取り組んでいるか」、「教育効果が得られているか」など、教師が抱えるさまざまな課題について情報交換ができる場になっている。

審査では、応募者が工夫しているという教育について多面的に分析する。たとえば、エントリー時にはラーニングユニットを確認し、書類審査では教育の目的・目標から評価・改善までを読み取り、インタラクティブ審査では発表者と審査員が時間をかけて教育のあるべき姿について真剣に議論する。このとき、教師の質向上や他機関への適用可能性についても分析する。

審査の公平性とコンテストへの思い

多面的な評価を実現するために、情報システムと教育に関する多様な価値観を受け入れて広い分野から審査員を選んでいる。一次審査の書類からはチームを類推できる情報を排除し、公平な審査を可能にしている。二次審査進出チーム数の決定では書類番号も目隠しされ、得点数のみが降順に示される。二次審査では審査員を数名ずつに分け、発表者ブースで本音の議論が行われる (写真)。机上には模造紙が用意され、審査員も一般訪問者も自由にコメントや質問を書き残すことができる。書き込まれた模造紙は、持ち帰って関係者との議論に利用されている。



総合評価はランクレベルで投票し、新增沢方式を適用して受賞チームを決定する。ただし、このコンテストのゴールは受賞者を決めることではない。コンテストへの関係者の思いは、教育者・学習者双方の質の向上である。

皆さんも、教育を変えてみませんか？

神沼靖子 (IPSJ フェロー)